



いじちけんぞう
伊地知賢造さん(陸上)

杉下小学校、藤中学校卒業
 國學院大學2年生
 第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走 区間2位(5区)
 第53回全日本大学駅伝 区間賞(8区)

大学三大駅伝での活躍

出雲で区間2位、全日本で区間賞と、大きな活躍を見せた伊地知さん。「どちらも向かい風でタフなコンディションの中でのレースでしたが、冷静に対応でき、強さを見せることができました。最長区間での区間賞をこの先につなげていきたいです」と、試合後の率直な思いを聞かせてくれました。

この活躍は、「夏の走り込みに始まり、フィジカルトレーニングから日々の生活に至るまでの、泥臭い鍛錬の積み重ねの結果」だといえます。

自分の本来の力を出せる強さ

好調の理由を尋ねると、「自分のコンディションを見極めて、レースに向けてどう身体をコントロールすればよいか、高いレベルでわかってきました。また、フィジカル面では、トレーニングを積んだことで、向かい風や登りに対して強くなったと思います」と教えてくれました。その結果、「今年は、本来の実力をうまくレースに繋げることができています」そうです。本番での力強い走りの裏にある、日々の努力や入念な準備を垣間見ることができました。

「走る」の楽しさ

小学生の頃に参加した駅伝大会

で区間2位。それが悔しくて中学校で陸上部に入りました。伊地知さんは、走ることに、「道具を一切使わないので誤魔化しが効かない競技です。やってきたことがそのまま結果に出ることが魅力」だと語ります。

練習での走行距離は1日30km前後で、「夏合宿では1日60km以上走ることもよくあります」とハードメニューをこなす日々。忙しい中でも、「友達と会ってご飯を食べたり、リフレッシュを大切にしています」と、唯一の休みである日曜日をうまく使って、モチベーションを保っているそうです。

目指すのは、さらなる高み

「大学三大駅伝すべてで区間賞を獲り、ユニバーシアードで日本代表になれるような選手になりたいと思っています」と、在学中の目標を聞かせてくれた伊地知さん。卒業後についても尋ねてみると、「将来的にはマラソンに挑戦したい」と、期待の高まる意気込みを語ってくれました。

1月2日(日)・3日(月)には、「総合優勝を掲げて今まで練習してきたので、主要区間で体を張って、チームに貢献する力強い走りをしたいです」と、2年連続の箱根駅伝に挑みます。テレビの前で期待に胸を躍らせながら、みんなで伊地知さんを応援しましょう！

編集後記

日々の取材で親子の写真を撮らせていただく度に、幸せな気持ちになります。子育てはきつと楽しいことばかりではないはずですが、どんなに大変な毎日でも、我が子に向けるその表情はいつも愛情に溢れています。子育てを頑張る皆さんが、自分らしくのびのびと楽しめますように。これからも幸せな瞬間をたくさん撮らせてくださいね。ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
 ☎10200001@city.tsurugashima.lg.jp

